



JFA 「2025年ローリングストック 普及促進の取組み」

2025年12月

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会

大規模災害対応共同研究会の概要

(一社) 日本フランチャイズチェーン協会 (JFA) 加盟のコンビニエンスストア (CVS) 5社が委員として参加の「大規模災害対応共同研究会」において、首都直下地震及び南海トラフ地震における被災地域への物資供給をテーマに関係省庁・自治体等のご指導のもと議論を実施。

大規模災害発災時に、避難所だけでなく在宅非難者への支援も考慮し、店舗を早期に回復させるため、物流を迅速に回復させる方法について検討。

※2021年12月～2024年12月にかけて全18回開催し、

2025年1月に最終報告書 ([202501-final-report.pdf](#)) をリリース

共同研究の目標：すべての被災者を支援する物流を実現

避難所避難者

在宅避難者、医療・介護施設等

国→都県→市町村→避難所
(物資支援の流れ)

自治体協定先の運輸会社の車両

主体：都府県・市町村

災対法76条1項の規制時、標章必要
(事前登録と交付時の申請必要)

工場→配送センター→店舗→自宅
(商業の流れ)

配送センター等契約の運輸会社の車両

主体：コンビニエンスストア・スーパー

災対法76条1項の規制時、標章必要
(事前登録と交付時の申請必要)

公共交通手段の回復

断水の回復

電力の回復

交通規制時の通行許可 (警察庁・警視庁・府県警)

道路啓開による通行路の確保
道路啓開計画 (国、各府県)

大規模災害対応共同研究会の成果（ポイント）

共同研究会にて官民の相互理解が進んだことにより、「緊急通行車両確認標章」の事前交付が可能になる等、具体的な成果もありました。

しかし、共同研究会として当初は「すべての被災者を支援する物流を実現する」ことを目的に議論を行ってきたものの、2024年1月に発生の能登半島地震発生時の状況を踏まえ、

「どれだけ準備を尽くしても早急に物資を届けることが出来ない地域は存在する」という現実を受け止め、今後発生が予測される「首都直下地震」及び「南海トラフ地震」に備えるため、広く国民にローリングストックを活用した、日頃からの備えを呼びかけていくことを決めました。

成果	記述内容
官民の相互理解の促進	コンビニ・スーパーで買い物をする在宅被災者支援のための「商流」早期回復の重要性を官側が理解 
災害時における物流の迅速化の推進	<ul style="list-style-type: none">「緊急通行車両確認標章の申請時交付」政令改正中核給油所での指定公共機関車両給油可能の確認  
国・自治体の支援を受けたローリングストックの啓発	ローリングストックの啓発キャンペーンを2025年1月から12月まで1年間実施 

ローリングストックとは

ローリングストックとは、日頃から災害時を想定した食品の購入～保存～消費のサイクルを廻しておくことで、非常食の準備を最小限に抑えて、無理なく自然に災害時の食料・飲料を確保しておく方法です。



【コンビニで購入できるローリングストックに適した食品】

項目	食 品 品
主 食	うどん、パスタ、そば、そうめん等の乾麺、インスタントラーメン、カップラーメン、シリアル、白米、レトルトのパックご飯、個別包装のもち
副 菜	各種缶詰類（魚、肉、豆類等）、レトルト食品（カレー、麻婆豆腐、パスタソース等）、玉ねぎ、ジャガイモ等の根菜類、ふりかけ、梅干し、のり、調味料
汁 物	カップみそ汁、レトルト味噌汁、スープの缶詰、レトルトスープ
軽 食	チョコレート、クッキー、ビスケット、せんべい
飲 料	水（3L/人・日×日数、4人家族なら2L×6本(一箱)で1日分、コーヒー、紅茶、野菜ジュース等

ローリングストックの取組み

方法	日本フランチャイズチェーン協会の下で、コンビニ各社がローリングストック啓発共同キャンペーンを実施
コンビニ主体で実施する意義	<ul style="list-style-type: none">○コンビニチェーンは、災害時も社会インフラとしての役割を自覚し地域社会に貢献したい○コンビニは全国展開しているが、大規模災害においては工場や配達センターが被災し迅速に商品を届けられない可能性がある。このため、国・自治体と協力して、ローリングストックに関する啓発を行い、災害時にお客様の一助となりたい
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none">○ローリングストック啓発のためのサイトを作成○コンビニ各社の公式Xアカウントにてポストの実施○農林水産省と連携し店舗での啓発を実施○「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」への参加

1. ローリングストック啓発のためのサイトを作成 ※2025年1月16日公開

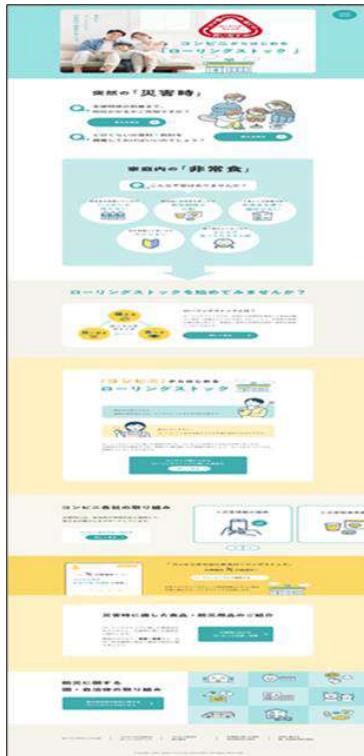
～ コンビニからはじめる「ローリングストック」 (<https://rs.jfa-fc.or.jp/>) ～

(トップページ)

(ローリングストックとは)

(コンビニ各社の取組み)

(企業の商品及び取組み)



ローリングストックの取組結果

2. コンビニ各社の公式Xアカウントにてポストの実施

- (1) コンビニ各社の公式Xアカウントにて、ローリングストックを啓発
- (2) 実施日は、「防災の日」や「防災用品点検の日」に実施。

※6月1日（日）、9月1日（月）、12月1日（月）

【6月1日のポスト】



【9月1日のポスト】



【12月1日のポスト】



※ BUZZMAFF（農林水産省YouTube
チャンネル）とのコラボを実施

ローリングストックの取組結果

3. 農林水産省と連携し店舗での啓発を実施

* 9月より農林水産省と連携しコンビニ店舗のレジ画面にてローリングストックを訴求。



※既に展開期間が終了しているチェーンもございます

4. 「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」への参加

- * 9月6日、7日に新潟県で開催された「ぼうさいこくたい」において、「ローリングストック普及推進実行委員会」のもとでワークショップを実施しました。
- * ワークショップは、9月6日に「地域の防災リーダーにこそ知ってもらいたい、これからのは在宅避難の備え～新たなライフスタイルとして、ローリングストックを広めよう！～」をテーマに開催し、地域の防災リーダー等32名が参加しました。
- * ワークショップでは、安全対策委員会の石合委員長よりコンビニによる新しいローリングストックの取組みを発表した他にも、ポリ袋調理・実食訓練、レシピづくり等、食の災害対策に関する最新情報を共有しました。また、その知識を地域で広めるための資料も提供しました。

ローリングストックの取組結果

【開催風景】

